

口和町酪農組合

6/22 庄原市口和町・鮎の里

福島からの新規就農者
福元紀夫さんを歓迎
総会開催



以前取材した福元さんの「らくのうだより」をもって紹介する西中参事(左から二人目)

歓迎会を併せて行い、同組合への加入を歓迎した。その後、懇親会では福元さんを囲んで、組合員をはじめ行政担当者らと懇親を深めた。広酪から参加した西中参事は、広島市廿日市市出身で、以前、有限会社安瀬平牧場で従業員として働く福元さんを取材しており、当時の「らくのうだより」を持って同町組合員に紹介した。また、同組合の組合員が新規就農者育成交付金事業における市行政が作成する「人・農地プラン」に参加出来ないかを行政に確認し、この事業は国から年間百五十万円が最大五年間給付されるもので、認定要件は①原則として四十五歳未満で独立・自営就農、②就農後の所得が二百五十万円未満、③就農する市町村の「人・農地プラン」に位置づけられていることが要件としてあり、今後、新規就農者として調整が行われることとなった。組合員らは仲間が増えたことを大変喜び、ともに頑張っていこうと誓い合った。

口和町酪農組合(石富貞美組合長)は総会を開催し、来賓に庄原市口和支所小田佳大氏並びに広酪から西中晃参事、中山篤志事業推進課長を招き、組合員四名が出席して総会を開催した。上程された平成二十三年度事業報告と収支決算、平成二十四年度事業計画と収支予算案は何れも可決承認された。併せて、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響を受けて、福島県での酪農経営を断念され、同町を営農の地として新規就農された「ふくふく牧場」福元紀生さんの

神石地域酪農生産振興協議会

6/19 湯つ蔵さんわ

効率的で収益性の高い
酪農経営を目指して
関係機関には技術指導を



神石地域酪農生産振興協議会(河上康則会長)は総会を開催した。河上会長は「酪農家が減少するなか厳しい情勢である。ぜひ技術指導を関係機関にはお願いしたい。我々も歳をとると身体は弱っていく。如何に収益を出し酪農を継続していくか。今までもとは違ったやり方で身体をいたわる経営をしていかなければいけない」と酪農家の高齢化に対してどう向き合っていくかを含め挨拶をした。

来賓挨拶では、神石高原町や東部畜産事務所から日頃の経営努力に敬意を述べられ、今後TPPの影響も受けかねないので注視していく必要があるとともに、政策や防疫関連への注意喚起等の説明が行われた。

隅屋寒三専務(広酪)は、酪農情勢を含め挨拶し、第十八回広酪通常総会への出席を呼びかけた。議事進行は藤井鉄男氏が議長に選任され、事業報告及び収支決算、事業計画及び事業予算案は原案どおり可決承認され、役員改選では欠員であった副組合長に入江英雄氏が選任された。

総会後は家畜診療所やNOSAI東部、山陽乳業(株)らの関係機関を含め、組合員と女性部合同の懇親会が和やかに行われた。